新関西国際空港株式会社	—	—	—	—	—	—	200	200	200	200	200	200
一般財団法人民間都市開発推進機構	—	—	—	—	—	—	310	310	118	310	310	118
中部国際空港株式会社	—	—	—	—	—	—	338	338	278	338	338	278
株式会社民間資金等活用事業推進機構	—	—	—	50	50	—	2,000	2,000	—	2,050	2,050	—
株式会社商工組合中央金庫	—	—	—	260	260	233	—	—	—	260	260	233
株式会社海外需要開拓支援機構	—	—	—	100	100	—	—	—	—	100	100	—
株式会社海外交通・都市開発事業支援機構	—	—	—	372	372	—	340	340	—	712	712	—
株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構	—	—	—	200	200	19	—	—	—	200	200	19
合　　計	109,610	112,529	89,242	2,757	2,757	1,185	33,848	33,848	29,063	146,215	149,134	119,490

㈱1．実績の数値は、平成27年度の決算時の見込値である。
　2．財政融資は全額財政融資資金である。

第２部　平成27年度決算

1．決算の作成と国会への提出

27年度決算は、28年９月２日これを会計検査院に送付し、その検査確認を経て28年11月18日第192回国会に提出した。

2．27年度における予算執行の実績

27年度における予算執行の実績をみると、一般会計における収納済歳入額は、1,021,753億円であって、歳入予算額996,632億円に対して2.5％上回り、支出済歳出額は、982,303億円であって、歳出予算現額1,032,681億円に対して4.8％下回った。この結果、歳入歳出差引き27年度の剰余金（歳計）は、39,449億円となった。

特別会計における収納済歳入額を合計すると4,028,841億円であり、支出済歳出額を合計すると3,862,143億円であった。政府関係機関における収入済額を合計すると10,920億円であり、支出済額を合計すると9,196億円であった。

次に、27年度予算のうち、諸般の事情により年度内にその支出を終わらないで翌年度に繰り越された金額は、一般会計において35,919億円、特別会計の合計において70,796億円であり、また、諸般の事情により不用となった金額は、一般会計において14,459億円、特別会計の合計において152,940億円、政府関係機関の合計において12,962億円であった。

また、一般会計において、予見し難い予算の不足に充てるために予備費を使用した額は1,800億円であった。

3．決算の主な内容

⑴　一般会計

27年度一般会計の決算について説明すると、

歳入決算総額は　102,175,307,122千円
歳出決算総額は　98,230,324,099千円

であり、

歳入歳出差引き　3,944,983,023千円

の剰余を生じた。

この剰余金は「財政法」(昭22法34)第41条の規定により一般会計の28年度の歳入に繰り入れた。

この剰余金には、26年度までに発生した剰余金の使用残額　45,017,450千円

が含まれているので、差引き

27年度の新規発生剰余金は　3,899,965,572千円

となった。

この新規発生剰余金から28年度への繰越歳出予算財源として純剰余金の計算上控除する額　3,591,915,526千円

を控除した額　308,050,045千円

が繰越歳出予算財源控除後の27年度の新規発生剰余金である。

さらに、この剰余金から純剰余金の計算上控除する額として

空港整備事業費等財源　311,539千円
復興費用及び復興債償還費用財源　53,333,127千円

を控除すると

27年度における「財政法」第６条の純剰余金は　254,405,379千円

となった。

以上の歳入決算総額及び歳出決算総額を27年度の歳入予算額及び歳出予算現額に比較すると、

歳入においては　2,512,032,155千円

増加し

歳出においては　5,037,817,178千円

減少した。

27年度の歳出予算現額は

歳出予算額　99,663,274,967千円
当初予算額　96,341,950,970千円
予算補正追加額　4,768,027,542千円
予算補正修正減少額　1,446,703,545千円
前年度繰越額　3,604,866,310千円
計　103,268,141,277千円

となる。このうち

同年度において支出済みとなった額は　98,230,324,099千円
同年度において支出を終わらず翌年度に繰り越した額は　3,591,915,526千円
同年度において支出を終わらず不用となった額は　1,445,901,651千円

である。

⑵　特別会計

27年度の特別会計の決算について概説すると、同年度における特別会計の数は、14であって、これら特別会計の歳入歳出決算額を合計すると、

歳入決算額において　402,884,166,667千円
歳出決算額において　386,214,324,659千円

である。